

# 新幹線・並行在来線対策で視察

## 10日に富山市と金沢市、11日に高岡市を



LRTに乗り込む議員

10日、11日は、新幹線公共交通対策特別委員会の視察です。これまでの特別委員会の視察は、青森や熊本などの遠方が多かったのですが、今回は、同じ北陸新幹線の沿線にある富山市、金沢市、高岡市を訪問し、新幹線駅周辺整備などを聞くことにしました。

### 富山の路面電車に乗る

最初に訪問した富山市では、JR富

山港線を路面電車に改造したLRTの話を読みました。

駅前の「公共交通まちづくりインフォメーションセンター」で約1時間、開通に至るまでの経過などをまとめたビデオを視聴し、市の担当者から話を聞きました。連日、視察の対応に追われているとのことでした。三セクの富山ライトレール株式会社が行っています。

その後、実際にLRTに乗ってみました。15分間隔で動いています。駅前から途中の城川原駅(本社がある)まで行って帰ってきました。「ガタゴト」という音もなく「スーッと走り出し快適です。どこまで乗っても200円(100円に割引中でしたが)、常連さんは「PASSCA」というカードを読取装置に「ピッ」とあてるだけです。

並行在来線にそのまま適用はできない



富山港線だった線路を走るLRT

と思いますが、「目からウロコ」のような発想の転換はおおいに学ぶ必要があります。例えば、「不定期」だったものを15分間隔で走らせる。駅間が広がったところには駅を新設して利用しやすくする。電車はカラフルにして乗ることが楽しくなるような工夫。等々。

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

## 市政レポート

2006年10月22日 122  
発行 杉本敏宏事務所  
上越市東本町5丁目1番38号  
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832

## 並行在来線に関心ない金沢市？

次に訪問したのは金沢市ですが、ここは視察のお願いをした時点で、「並行在来線については取り組んでいない」ということで、石川県が鉄道運輸機構を紹介されました。

金沢駅にある鉄道運輸機構を訪れ、駅整備の状況を聞きました。新幹線の駅はほぼできあがっており、線路を強いて、屋根をつけられれば完成という状態でした。駅前には莫大な費用をかけ



鉄道運輸機構で説明を聞く

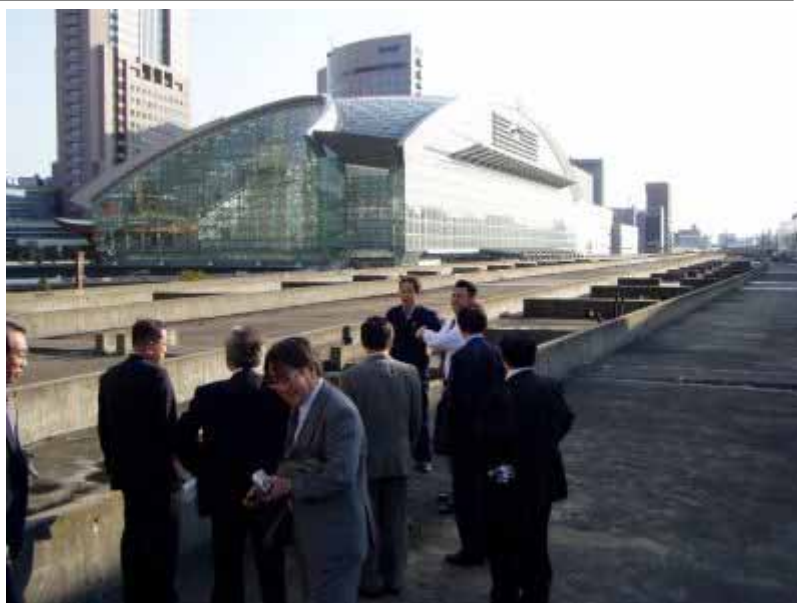
て整備の真っ最中でした。

## 新駅周辺整備は先…高岡市

視察二日目は、高岡市です。ここは新幹線新駅が現高岡駅の南約1.5kmのところにつくられます。

現在の駅周辺などの中心市街地と新駅周辺の整備事業との兼ね合いが気になるところで、議員からの質問もそこに集中しました。答えはたいへん淡泊なものでした。現駅から北東へ伸びる市役所などを中心とした軸、北西に広がる商業中心地、新幹線駅南までの開発予定地がちょうど「Y」の字型になっているという説明でした。全部やると財政がたいへんなので、当面は、現駅周辺の再開発と中心市街地活性化に取り組むとのことでした。

また新幹線は、城端線と十字に交わりますが、そこには駅がないので、新たに作ることになるそうです。新幹線駅の東側にはすでにイオンがオープンしています。しかし新幹線の南に広がる「開発予定地」は、いまだ市街化調整区域のままです。駅前駐車場用地など一部は市街化区域に組み入れが予定されていますが、広大な農地はそのままにしておくということでした。



新幹線金沢駅の状況。議員が立っている所が線路敷

新幹線高岡駅は、「能登半島観光と白川郷観光の玄関口」という話でしたが、その割にはそんな施策が何も見られません。高速道路など道路整備が進んでいます」との説明でしたが、「新幹線で来た人が高速道路を使って観光するか？」と思いました。どうもちくはくなくようです。「新幹線駅といっても空港ができるようなものだからね（だから周辺整備をしてもらえない）」という言葉が印象に残りました。